

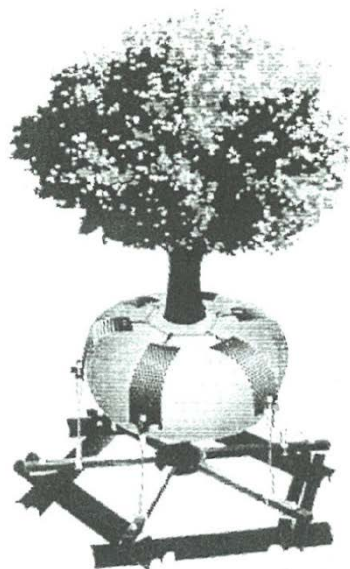
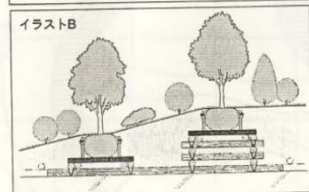
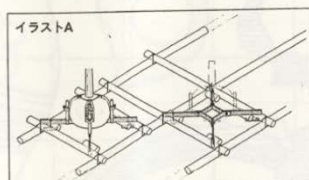
## 軽量土壌を使っています

建物の上にある「花のテラス」、「緑のテラス」、「ふれあい通り」などでは、通常使われる土の半分以下の重さで保湿や通気性がよく、水はけの良い人工軽量土を使用しています。





改良型根鉢支柱

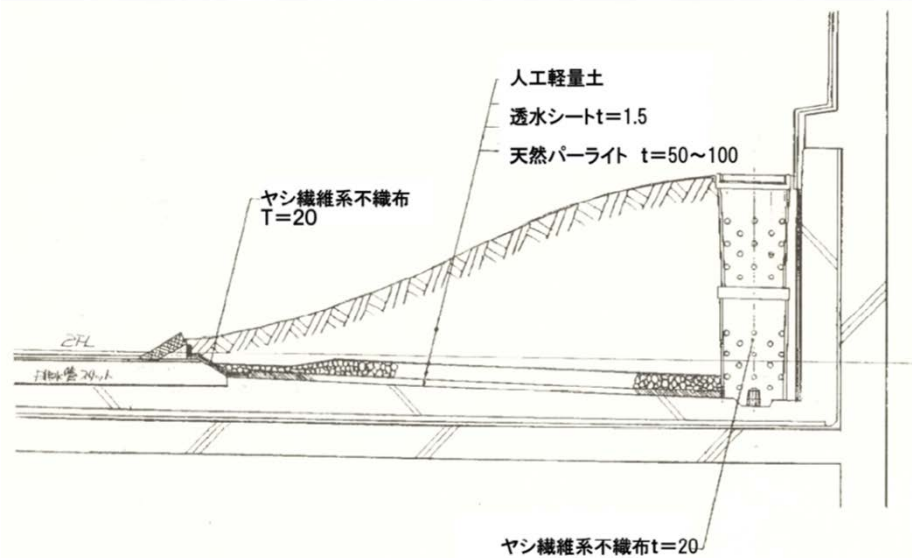


## 見えない支柱

根鉢の大きな樹木を植えるため、土の厚さを最大で150cmに盛り上げています。

その地中には樹木に合わせたオリジナルの地下支柱が設置され、風速60m/秒でも倒れないよう工夫されています。





## 盛土の効果

盛土をすることにより、根鉢の大きな樹木を植えることが可能となります。また、植栽面積を広げ、高低差により奥まで見通せるなど、植物を綺麗に見せることができます。





自動灌水ホース

### 雨水の有効利用と自動灌水

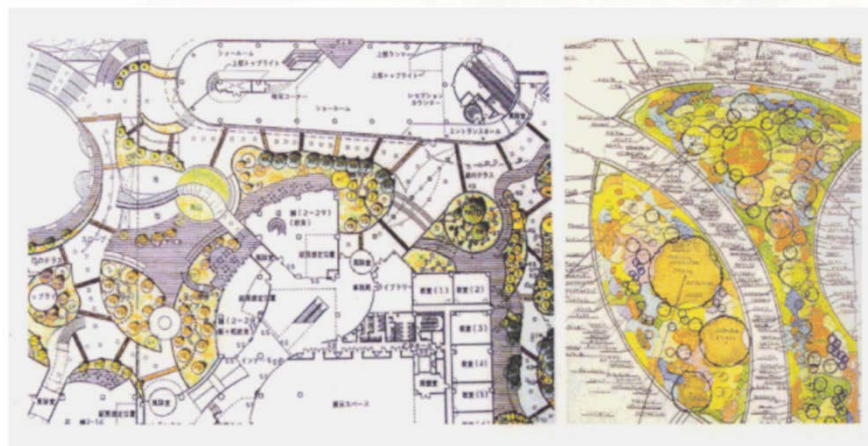
トリトンスクエアでは雨水を溜めて浄化して、多方面での利用がされています。

「トリトンの庭」の土壌表面に約50cm間隔に設置された自動灌水ホースから出る水も、この雨水を利用しています。





Photo:Asami



## 数多くの植物種

約700種類、約20万株の多種多様な植物が植えられています。

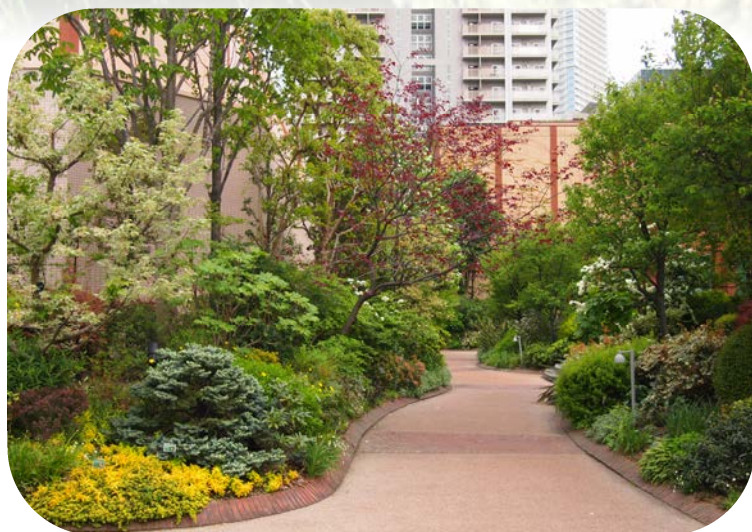
新品種や人気の定番まで多くの種類を見ることができます。

平面計画図（高木・地被類）





Photo:Junko



2階エリアの回遊路

### 皆にやさしい園路

「花のテラス」と「緑テラス」の回遊路は、クッション性が良く足に優しいゴムチップ舗装で、ゆったりと散策ができるように曲線になっています。

ベビーカーや車椅子でも移動できるスロープもあります。

子どもからご年配の方まで皆様に楽しんでいただける園路です。





植替えの様子

## 季節ごとに植替えを行っています

「トリトンの庭」では、季節の花の植え替えを年に4回行っており、年間約2万株の植物を入れ替えています。

植え替えを行うエリアは花のテラス、ノーストリトンパーク、フラワーロード、サンプルガーデンなど。

専属ガーデナーが大田花卉市場に出向き、最新品種から人気の定番まで多くの種類を選んでいます。大田花卉市場は、取り扱い量・金額ともに国内最大で、世界でも3番目に大きい市場です。





### 野鳥

「トリトンの庭」では、人による野鳥の撮影と併せて、バードカメラを使用しています。

バードカメラとは、生き物の動きを感知し自動連続撮影を行うものです。

野鳥を餌で誘き寄せることせず、野鳥が好む環境下（・餌となる植物がある・人通りから離れている・野鳥にとって見渡しの良い場所、など）にカメラを設置することにより、自然な姿を撮影しています。

2023年現在、約15種の野鳥が確認されています。



バードカメラで自動撮影された野鳥



ジョウビタキ



シロハラ



メジロ



ヒヨドリ



オナガ



アカハラ



バードカメラで自動撮影された野鳥



モズ



ツグミ



シジュウカラ

### 野鳥に餌をあげないようにお願いします

野鳥の餌付けは下記の理由から、野鳥に害を及ぼす恐れがある為、控えていただくようお願いします。

- ・自ら餌をとることができなくなります。
  - ・本来食べることのない添加物等が含まれた食べ物により、病気等になってしまう可能性があります。
  - ・餌付けされた種のみが増加することにより、生態系のバランスを崩してしまいます。
  - ・餌付けに依存し、渡りの時期に変化を及ぼします。
- など





*Photo:Mikota*

## 昆虫

植生が豊かな「トリトンの庭」では、チョウ類、トンボ類、バッタ類、セミ類、その他にも多くの昆虫を見ることができます。

トリトンの昆虫たちの音色は、季節の移り変わりを知らせてくれます。



トリトンの庭で撮影された昆虫



チョウ・トンボ類



トリトンの庭で撮影された昆虫



セミ・バッタ・カマキリ類





Photo: Yuko



腐葉土つくりと使用している様子

## 落葉のリサイクル

「トリトンの庭」には多くの落葉樹が植えられています。

冬に大量に落ちる葉を大切な資源としてコンポストに蓄え、一年かけて腐葉土を作っています。

完熟した腐葉土は「トリトンの庭」で利用しています。





Photo:Asami



剪定枝のオブジェと昆虫たちの棲みか

### 剪定枝のリサイクル

木々の剪定により発生した剪定枝から、太い幹や細い枝などを使ったオブジェを作成し、庭に設置しています。

自然素材のオブジェは庭に溶け込み、楽しい雰囲気演出します。

また、剪定枝を植栽内に積み上げて、昆虫たちの棲みかや隠れ場所を作ることにも使用しています。





花から摘みの様子

## ガーデナーの一日

「トリトンの庭」には専属のガーデナーが常駐しています。

毎日約6,600㎡の緑地全体を巡回し、植物や緑地の状態を確認しながら、日常の定期作業（花から摘み、除草、剪定、植栽内ゴミ拾いなど）を行います。

その後、巡回時に確認したやるべき作業に優先順位をつけて、順次きめ細やかな作業を行います。

作業後は作業日報、樹名札の作成などを行います。